チャオ・ベトナム

JAPA VIETNAM 会報

NO.55　　発行者：ジャパ・ベトナム事務局　発行日：2018 年 6 月 15 日

◆支援の根本は人を大事に・・・・・・・・・・1
◆ベトナム支援先ツアーに参加して・・・2，3
◆ゲアン省の村営診療所をたずねて・・・・・4
◆ツアーでベトナム少数民族を知る・・・5，6
◆夏のツアー学生参加プログラム・・・・6
◆寄付者一覧、お知らせ・・・・・・・・7
◆会計報告・・・・・・・・・・・・・・・8

支援の根本は人を大事に

安藤　勇

（ホーチミン市　日本語クラブの若者と）

今年のベトナムのお正月(TET)が始まる前、1ー2 月にかけて 5 週間程度ベトナムで暮らしている間に、ベトナム国のサッカーチームはアジアカップの決勝戦まで進んだという明るいニュースが全国に届いた。午後 5 時ごろ、突然、大喜びのために HCM 市内の空気が急に変わり、洪水のように国旗を抱えた若者のバイクが、お祭りの気分で方々から溢れてきた。その勢いが益々強くなり夜中に続いた。Saigon 川の近くに行っていた私は足が止まり、宿泊まで連れてくれるタクシーを待っても、待っても一台も現れず、非常に困った状況になり、やっと見えた一台に乗り込み、普段より三倍の値段で宿泊先へ無事に運んでくれた。

やっぱり、人間(若者)はどこでも同じだなと感じた。最近、FIFA クラブワールドカップ選手権で優勝した Real Madrid の時にも似ているエピソードがある。Madrid の市民たち（若者）は海外から帰国した Real Madrid の選手たちを待ち構えて、爆発的な喜びで迎えた。

さて、ジャパ・ベトナムのメンバーは、長年間、毎年ベトナムを訪れ、北から南まで多くの若者や子どもたちに出会ってきている。このニュースレターにも載っているように今年も今までと同じベトナムの旅を続ける予定。ものづくりを支援する団体もあるが、ジャパ・ベトナムは「人づくり」、つまり、人の養成、人の暮らしが少しでも楽になることを支援の対象にしている。そして、相手側の自立性を狙って仲間を作り、あんまり目立たない方法だが、ベトナム人との友好関係を結んでいる。
実は、国家同士レベルでは、日本国とベトナム国との関係は健在だと思われている。先日、国賓として来日したベトナムのチャン・ダイ・クアン国家主席夫妻のために行われた晩さん会では、天皇陛下は「両国間の相互理解と友好協力関係が今後さらに増進することを願っています」とお話しされた。確かに目で見える形でそうなったと感じる。

現在、日本国内のベトナム人の若者は何万人もという単位で急速に増え続けている。ジャパ・ベトナムは、彼ら/彼女ら一部と付き合いがあり、一緒にコンサートを開催してベトナムの音楽文化を披露し、また、教会の共同体のメンバーとベトナムで困っている人たちのためにお互いに支援金集めの協力も行っている。

ベトナム支援先ツアーに参加して

五井　邦宏

ベトナム南西部国境近くの村落を訪ねる

安藤神父、松尾氏、櫻井氏、渡辺神学生さんに通訳 An さんと五井（ドライバーさん）のグループで、Can Tho 市内を７時半頃出発し、メコンデルタに広がる平野の中を Ca Mau 市に向かい、午前中には市内に到着しました。日中の暑い最中ヘルメットを被って駆け回り案内して下さったダット神父さんは、小柄でがっしりとしてエネルギッシュな方で、支援先に同行し案内をしていただきました。隣の Bac Lieu 県の出身で、２２年間も当地域で活動されてこられ、３年前から Cai Doi Vam `教会建設のために活動されているとのことです。この地域では、教会は、行政と良好な関係をもち、協力して地域の改善に当たっているそうです。（昨年は、福祉関係の責任の方も同行して支援を行いました。）

Ca Mau 市内から、Phu Tan 地域の Vam Dien 中学校へは途中水路を利用して午後１時少し前に着きました。学校の校庭で生徒や父兄など関係する人が集まって、生徒に自転車（10 名）を寄贈しました。

その後町の中心にある Cai Doi Vam 教会に移動して、集まった地域の生徒（20 名）に自転車を贈りました。

昨年には着工したばかりだった教会の建設は、ほぼ８割がた進んでおり仕上げの段階にありました。教会の食堂で用意いただいた昼食をいただきながら、お話をお聞きし、午後３時過ぎには教会をあとにしました。都会から遠く離れた小さな町 Cai Doi Vam は、メコンデルタの最南端地域にあり、タイ湾側の海につながる河口近くにあり、水産養殖など漁業が主な土地だと聞きました。特にカニは有名だそうです。またエビの養殖も盛んで、輸出用に日系企業と協力していることもお聞きしました。

メコンデルタの最南端の漁村を訪ねる

前日の Ca Mau に引き続いて、安藤神父、松尾氏、櫻井氏、渡辺神学生さんと五井（ドライバーさん）のグループで、Ca Mau 市を朝７時半頃たち、Co Trang 教会のある Kien Luong 市に向かいました。

午後１時前に教区への入り口にある市内で、夜行バスで既に HCM 市から到着していた通訳の Ai さんと合流し、Co Trang 教会を午後１時半頃に訪問しました。

ベトナム南西部のカンボジアとの国境近くにある村では、安定した働き口が少なく村人は、漁業に出かけたり、ちょっとした手伝いなどで暮らしを立てている貧しい家庭も多いようです。

地区では、新しい教会の建設が進み、昨年は着工したばかりでしたが ~ ７割がた進み、あと一歩のところまで来ていました。

今年の学費の支援する中学生達７名と、来年対象の生徒さん達およそ１４名が一緒に迎えてくれました。また、学費をサポートする生徒たちを世話されているベテランの先生も一緒されました。安藤神父さんから、今年の対象者７名に奨学金をお渡ししました。

その後、Tri 神父、先生から、村の現状や貧しい家庭への水タンクの支援、また学費の支援などについて伺いました。

（この、水タンクの支援先は教会の信者とそれ以外の貧しい村人も含まれており、今年も昨年と同じ３０個、の申請がありますが、タンクの製造やかかる費用などについてもお聞きしました。）

また、教会裏奥の建て屋では、新たに支援を受けて（およそ 100 万円くらいだったそうでしたが）中規模の飲料用水の製造装置（米国製）が設置され、約６ケ月前から動いているとのことで、それらを見学させてもらいました。

ここで製造した水は飲料水の水質の基準を満たし、ボトル詰めして販売するための公的な許可も得ているとのことでした。浄水は１日に 100 本（18Ｌ）くらい造ることができて、１本 6,000 ドンくらいで配っているとのことでした。なお、この装置の原水は、Ha Tien 町にある水工場から水路で運んで来るとのことでした。（この地域は海岸に近く、井戸の地下水には塩分が多く飲用には使えないので、実際には雨水の利用がおもだとの説明でした。）機器の点検や運転、飲料水のボトル詰めなど、すべてを教会員でやっているとのことでした。

その後、実際に貯水タンクを使っている数軒の家を訪ねて、その様子を見せていただきました。

新教会の完成と、村の人々の生活の向上と子供達の未来を願いながら村をあとにしました。

ゲアン省の村営診療所をたずねて

櫻井　實

2017年８月25日、ベトナム建国の父ホーチミンさんの故郷ゲアン省を初めて訪れた。省都ヴィン市の空港はこじんまりしているが近代的で清潔感があふれ、ホーおじさんへの敬意が十分に感じられた。
ゲアン省は、ベトナムの北中部に位置し、ハノイから南へ飛行機で約 40 分の地、夏は暑く冬は寒いうえ台風が多い、ベトナムでも最も過酷な地域と聞いた。
そのため忍耐強い気質と、上昇志向の強い土地柄だそうだ。
王朝時代は科挙の合格者を、仏領インドシナ時代は抗仏運動に身を投じる民族主義者を多く輩出し、ベトナム独立の父ファン・ボイ・チャウもこの地の出身者との話である。この地の二人の英雄に負けない使命感にあふれた素晴らしい医師に出会った。

飛行場から車で約一時間のフンチュン村にある村営診療所を訪問した。
2016 年の支援金で歯科治療チェアーを購入するとの話であった。　約束通り実行されたかその確認と、その後の診療所の運営状況を把握するために、グエン医師に治療室を見せていただき面談した。
治療室には約束通り新しい歯科設備がしっかりと設置されていた。

村の人口約１万人に対し、診療施設は１か所のみで、更にこの診療所は医師１名、スタッフ４名で運営されていた。グエン医師一人で内科・外科・産婦人科・歯科等全ての診療を行っているそうで、責任感にあふれ落着いた雰囲気は、まさしくスーパーマンドクターで立派な人物だと感銘した。
多い時期には月に約８百名の患者があり、多忙を極めている。
勤務状況が厳しいことで医師が集まらないことが、医療設備や医薬品が十分でないことと併せ大きな問題との話であった。
また、最近では消化器系ガンも増加しており、重症者は大病院へ転送するしかないが、救急車が無い為いろいろと問題が生じていることも聞いた。
医療は国・省がもっとバックアップすべき大きな課題であるが、現実にはそれが十分に及んでいない現実がここにもあった。
我々の寄付金が医療設備や臨床機器等の購入に役立ち、村民の支援につながっていることを実感した。
この立派な赤ひげ医師に続く、新しい医師が増る事を願いながらゲアン省をあとにした。

ツアーでベトナム少数民族を知る

中野　孝文

１９９２年に初めてベトナム駐在をした時、ベトナムには少数民族問題があると聞かされたが、それが何であるかは全く知らなかった。駐在の７年弱の間で知ったことは、少数民族問題を担当する省庁がある事と、１９９２年に少数民族 Tay 族出身の Non Duc Manh 氏が初めて国会議長に選任された事だけです。

２０１３年にジャパ・ベトナムの支援先訪問ツアーに参加し、以後毎年支援先を訪問していく中で初めて少数民族を知ることになりました。ジャパ・ベトナムの支援先で少数民族に関わるプロジェクトは７カ所あり、私はその内６カ所を訪問しました。

Binh Phuoc 省カンボジア国境近く Long Dien 村にある支援先である少数民族子ども達の寮を訪問した時のことです。周辺の少数民族（主に X'tieng 族、Mnong 族）の子供達が学校に通えるように建てられたもので、小学生から高校生まで 100 人超が暮らしている。この寮を運営する修道会のシスターの説明の中に次のような話しがあった。

「子供達は卒業すると皆故郷の家に帰る。都会に出た者も１−２ヶ月すると戻ってくる。皆故郷が好きだからです。」

（Long Dien 村　寮の子供達 ）

私はこれを聞いて、子供達が皆戻ってくるのは都会での生活では周りの人と言葉、生活習慣の差異、そして都会の人々の心に潜む差別感情からだろうと考えた。ハノイで私のベトナム人の友人に支援活動で Cao Bang 省（少数民族が 90%を占める）に行き少数民族の人たちに会うとの話しをしたときに、友人から「少数民族に会うの。気をつけて」と言われ、何に気をつけるのか聞いたが返事が無かった。一緒に食事をしていた他の友人が、スーと別の話題に切り替えた。彼らからこのような反応があったのは意外であったが、心の中に少数民族に対する違和感があるのだ、とその時思い知った。

しかし数年後に同じ寮で聞いた説明に、「政府が教育を受けた若者は故郷に戻り村の生活の向上に尽くす、という政策がある」と聞きました。村の仕事（役所、学校）の人材不足を教育を受けた人材で補い、村の生活の向上に繋げる施策があるのでしょう。一面的な思い込みだけでは深く隠れ易い問題は間違う恐れがあることに気がつかされた。

ベトナム貧困対策 P135Ⅱ政策を評価した UNDP のレポートの中で、端的に述べられていたのは全体に上手く機能しているが、少数民族の高等教育の進学率の低さ、ベトナム語の識字率の低さが、政策施行を阻害していることが指摘されていた。ある支援先との話でベトナムの大学入試制度では少数民族の人たちに対する優先枠があると聞きました。嬉しいことに去年 Yen Bai 省 Phinh Ho 村（Hmong 族）訪問では、この村の出身者でハノイの医学大学に進学する一人の若者に出会った。彼は真面目そうな若者でこれからのハノイでの新生活に希望と不安が入り交じったような様子でした。

（Phinh Ho 村 皆でお茶の選別 ）

Cao Bang 省の病院で聞いた少数民族の人々への医療・医薬品の提供状況をハノイの友人に話したところ、自分たちが受けている医療サービスと比べ大きく違い羨ましい、とまで言われてた。一方、Cao Bang 病院の医師の説明では、国全体としては医師の数、入院ベッド数は大きく改善したのは確かだが、Cao Bang 省では全国平均の半分にも満たないと言われた。

少数民族の人々の生活の中に入り見学するのは難しくなかなか機会がありませんでしたが、Binh Phuoc 省 Bu Tau Ⅱ村（Xtieng 族）を訪問した時に家の中を見る機会がありました。この村は Bu Dang 市からミニバスで 1 時間半ほど掛かり、途中国道から別れて村へ向かう赤土の道には急な坂がいくつもあり、これでは雨が降ったら途中で動けなくなると思うほどでした。カシュウナッツとコーヒー豆の栽培が生活の糧で、村の中には野菜畑、井戸が整備されていました。送電線もなく、村はランプ生活ですが長老の家の屋根にはソーラーパネルが設置され TV、蛍光灯が点いていました。集まった子供たちの半数は裸足でしたが、恐らく歩いて遠くの学校に通っているのでしょう。

（Bu Tau Ⅱ村の家）

（ 村の子供たち ）

急速に発展するベトナムの中で大きな格差、差別を抱える人々がいて、そこから自立していこうと努力する人々がいます。これからも引き続き今の活動を続けて行こうと考えています。

☺ 「夏のツアー 学生参加プログラム」のご案内 ☺

ベトナムへ行って彼らの故郷の生活をみてみませんか？
ベトナムの若い人たちと交流してみませんか？

今年は初めての試みとして、**ツアーの一部に学生・若者向きのコース**を組み込みました。
ホーチミンとその周辺の旅ですが、普通のベトナム・ツアーとは違った体験ができます。

日程：
2018 年 8 月 25 日（土）
～9 月 1 日（土）

費用：
１００,０００円（概算予定）

＊日本-ベトナム往復航空運賃、宿泊代、
ベトナム国内交通費、食費を含む

＊日本でのオリエンテーションを
７月末頃予定

訪問先予定：ＨＣＭ（ホーチミン）市内、カントー市周辺／メコンデルタ

8／25：成田発、現地で打ち合わせ、HCM 市内散策
8／26：子供の教育施設、大学の日本語クラブ
8／27：少数民族の子供達の寮訪問（カンボジア近く）
8／28,29：支援先のスラム/無償クリニック、JETRO、
大学、一般家庭、企業、市場、宗教施設など
8／30：メコンデルタの農漁村、教育施設（小学校）
（カントー泊）
8／31：昼過ぎに HCM に帰着後、翌朝出発まで自由時間
9／ 1 ：HCM 発

2017 年 10 月 1 日～2018 年 3 月 31 日までの会費・寄付納入者のお名前です（敬称略）

青沼　酉子	東京都
阿部　節子	愛知県
イエズス会社会司牧センター	東京都
イエズス会神学院	東京都
匿名	北海道
井出　公平	福岡県
出原　久美子	埼玉県
今井　健二	東京都
岩田　瑞枝	神奈川県
江口　一郎	神奈川県
岡田　典子	東京都
岡村　多美子	埼玉県
岡山　卓生	東京都
加藤　隆子	神奈川県
加藤　智生	神奈川県
加藤　尚子	神奈川県
カトリックイエズス会	東京都
Kim Ha	神奈川県
Nguyen Thi Mai	神奈川県
倉澤　伸子	大阪府
小池　美恵子	東京都
小坂　一代	東京都
桜井　健吾	兵庫県
櫻井　實	茨城県
佐竹　道子	長野県
佐藤　みどり	東京都
澤田　紀子	千葉県
渋谷　節子	東京都
嶋田　弘志	東京都
陣内　保子	茨城県
須田　俊子	東京都
関谷　英一	東京都
武市　英雄	神奈川県
武井　弘光	東京都
武永　蘭	東京都
多勢　三枝子	東京都
田野　実	埼玉県
辻村　寛行	東京都
戸村　信子	長崎県
中嶋　俊之	東京都
中島　淑子	東京都
中野　孝文	神奈川県
根岸　寿	兵庫県
野本　佳子	東京都
畑中　雅信	東京都
Ha Thi Liet Oanh	神奈川県
原　章子	東京都
原　茂	千葉県
藤井　訓子	広島県
藤田　公一	埼玉県
松尾　民博	東京都
松田　稔	東京都
馬渕　タック	千葉県
マリアの御心会信濃町共同体	東京都
宮坂　芙美	埼玉県
宮坂　淑子	埼玉県
矢島　澄子	東京都
柳下　修	神奈川県
山口　淑子	東京都
山本　昌子	東京都
湯下　博之	東京都
渡辺　直樹	埼玉県
渡辺　典子	大阪府

☺ チャリティーコンサートを開催します ☺

ベトナム・ラテンアメリカ 音楽の集い

♪ベトナム雑貨＆香辛料バザーあります♪

2018 年 7 月 22 日（日）

14:00～16：00（開場 13：30）

真生会館 岩下ホール

JR 総武線信濃町駅改札出て右側徒歩 1 分

チケット：1000 円（ベトナム菓子・飲物付）

♪マルキチャイ
（フォルクローレ音楽）

♪セシリア合唱団
（ベトナム人混声合唱団）

♪サイゴンロータス
（民族楽器ダンバウ・ダンチャイン・二胡）

☺ 「2018 年 夏の支援先ツアー」開催のお知らせ ☺

今年は 27 年目。右表のとおり開催いたします。

日程：8 月 20 日（月）～9 月 4 日（火）

各支援先にて現況を自身の目で見て、責任者と問題点や将来の計画などの話し合いをおこないます。
観光旅行では行けない地。できない体験。貴重な出会い。
興味ある方はぜひ事務局までお問い合わせください。
部分参加も可能です。

日付	出発	訪問	宿泊地
8月20日	羽田	出国	Ha Noi
8月21日	Ha Noi	Thai Tri, Dai Tu	Bac Ninh
8月22日	Bac Ninh	Phinh Ho, Ta Lanh	Nghia Lo
8月23日	Nghia Lo	移動日	Ha Noi
8月24日		Free　現地交流会	Ha Noi
8月25日	Ha Noi	(16：00　学生打ち合わせ)	Ho Chi Minh
8月26日		(日本語クラブ)、Smile Group	Ho Chi Minh
8月27日		Long Dien	Ho Chi Minh
8月28日		(大学、市場、寺社、家庭、JETRO)	Ho Chi Minh
8月29日		Tieng Vong, Van Group	Ho Chi Minh
8月30日	Ho Chi Minh	Dai Hai, Phung Hiep	Can Tho
8月31日	Can Tho	Ca Mau	Ca Mau
9月1日	Ca Mau	Co Trang	Ha Tien
9月2日	Ha Tien	移動日	Ho Chi Minh
9月3日	Ho Chi Minh	帰国	機中泊
9月4日			

◆◆◆会計報告◆◆◆

（2017 年 10 月 1 日～2018 年 3 月 31 日）

収支明細　　（単位：円）

収入	一般寄付	769,800
	助成金	0
	利息	8
	小計	769,808
支出	支援金	0
	通信費	44,102
	活動費	93,414
	事務費	6,605
	小計	144,121
前期繰越金		1,263,110
当期収支		625,685
次期繰越金		1,888,795

本年度支援要請

次のプロジェクトへの支援申請が届いています。

- エイズ診療所運営費　300,000 円
- 聖ヨセフ小学校運営費　300,000 円
  教育用 PC10 台　300,000 円
- エイズ家庭子供ケアー　200,000 円
- 漁村生活支援　300,000 円
- 飲料水貯水施設・奨学金　300,000 円
- エイズ子供家庭奨学金　300,000 円
- 少数民族ケア（給水設備）　1,000,000 円
- 少数民族子供寮（食費）　400,000 円
- 村診療所（医療器具等）　300,000 円

皆さまの暖かいご支援、宜しくお願いします。

JAPA VIETNAM をご支援ください

JAPA VIETNAM にご支援いただくには、以下の三つの方法があります。

- **一般会費**　**年間１口（2000 円）以上**
- **賛助会費**　**金額・時期ともご自由に**
- **活動費寄付**　**活動費の支援（金額自由）**

どれになさるかはご自由にお選びください。
ご都合に応じてご送金いただければ幸いです。
会費をお振込みいただいた方には、振込の半券で領収書とさせていただいております。領収書が必要な方は、振込用紙の通信欄の「□領収書必要」の□にチェックを入れてください。
事務費削減にご協力いただけると幸いです。

【ご送金は郵便振替で】
00100 - 8 - 118761
JAPA VIETNAM

◆

【銀行をご利用の場合は】
三菱東京 UFJ 銀行　四谷三丁目支店
東京女子医大出張所
普通預金　3544236
JAPA VIETNAM 代表　安藤勇

会報名『チャオ・ベトナム』について

「チャオ」（**chào**）とはベトナム語で「こんにちは」という意味です。『チャオ・ベトナム』というタイトルには、ベトナムの人たちと友情のネットワークを築いていきたい―という、私たちの願いがこめられています。

ベトナムの未来にあなたの力を

ジャパ・ベトナム

（日本ベトナム民間支援グループ）

JAPA VIETNAM

(JApanese group of Private Assistance to VIETNAM)

〒102-0083　東京都千代田区麹町 6―5―1
岐部ホール 4 階
イエズス会社会司牧センター内

◆

電話　03-5215-1844
FAX 03-5215-1845

◆

e-mail:japavietnam2014@gmail.com
http://www.japa-vietnam.org/